

歯科口腔外科 レジデント研修カリキュラム

がん専門病院にある歯科口腔外科であり、当科へ受診される患者さんのほとんどはがん治療によって生じた、あるいはそういった疾患を生じるリスクを抱えています。個々の口腔内を適切にアセスメントし、実施されるがん治療の内容に沿ってこういった歯科的な問題を最小限にすべく支援する「口腔支持療法」が必要不可欠と言えます。医師、メディカルスタッフとともにがん治療を行うチーム医療の担い手としても、歯科医師の知識、技術は必要です。がん治療の方法、薬剤とも日進月歩な昨今においては、口腔支持療法にかかる知識の更も求められています。当科ではがんの「チーム医療の一員」として「適切な口腔支持療法」としての歯科治療の提供を目指しています。

研修目的

・すべての診療科からのコンサルテーションに応じ、がん治療にかかる口腔関連有害事象に対しエビデンスのある歯科的介入を計画し、安全に実施できる能力を獲得すること

研修目標

1. がん口腔支持療法の標準的な知識を習得する
2. がん口腔支持療法の実施に必要な基本的な歯科治療、外来口腔外科処置の手技を習得する
3. 多職種連携によるチーム医療の一員としての役割を理解する
4. 摂食嚥下機能障害への対応など栄養サポートとしての歯科医師の役割を理解する

取得可能な学会認定資格

(各学会の申請に必要な経歴に当科研修を含むことが可能です ※2021年10月時点での各学会規則に基づく記載であり、今後変更される可能性があります)

- ・日本有病者歯科医療学会 認定医
- ・日本口腔内科学会 認定医
- ・日本代謝栄養学会 認定歯科医
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士 …など

なお、当院は「全身麻酔下の歯科口腔外科手術」を行っていないため、日本口腔外科学会の研修施設認定は受けておりません。

実務研修

- ・歯科口腔外科外来での診療
- ・各科カンファレンスへの参加

希望者向け研修

・関連他科との人事交流：各科との調整のうえ、3 か月程度、週 0.5～4 日、歯科口腔外科領域と関連のある部門にて見学を中心とした院内研修を行います

（実績：放射線腫瘍科、頭頸部外科など）

・栄養サポートチーム（NST）カンファレンスへの参加：週 1 回のカンファレンスへの参加にて、臨床的な栄養療法を学びます

自己学習

・がん口腔支持療法に関する学会参加、臨床研究（学会発表、論文作成）

・各学会や歯科医師会主催の研修会への参加

・教科書を用いた自己学習

※上記についても、院内の取り決めに認められる範囲内で、支援を行います

最終改訂：令和4年3月16日